



NIPPON BEARING

9月28日付 日本経済新聞広告 『かくれ雑学』詳細

## 【卓球の必殺レシーブ 命名の由来はバナナ】

日本人選手の活躍も目覚ましい卓球。

レジャーでの卓球は、温泉地で楽しむイメージのある比較的穏やかで身近なスポーツですが、競技レベルでは、スピードも速くかなり激しいスポーツでもあります。

様々な戦型（プレースタイル）と数多くの打法を駆使した戦いは、卓球競技の醍醐味です。

戦型には、ドライブ打法やスマッシュ打法を軸に戦う攻撃的なスタイルや、カット打法を軸に粘り強く戦う守備的スタイルなどがあります。

サービス、レシーブから、ラリー中に繰り広げられる様々な打法は必見です。

台から離れた高い位置から返球する守備的技術のロビング、高速で直線的・攻撃的なスマッシュ、前進回転をかけて返球するフリックなど、変化に富んだ打球があります。

そして、【チキータ】。「何故ここで突然バナナのブランド名が…？」と思いますが、この打球の曲がる弾道がバナナの姿に似ていることから、有名なバナナブランド【チキータ】の名前が付けました！横回転系のフリックとも言われ、必殺レシーブです。

逆横回転系のチキータは逆チキータと呼ばれ、選手名からついたミュータなどもあります。

これらの打法を生み出しているのは、選手の技とラケットのタイプの多さが考えられます。

- 握り方の異なる2種類のラケットが存在する
- ラケットに貼るラバーが片面の場合と両面の場合がある
- ラバーの種類が複数ある

更に、ラケットに貼るラバーは、ゴムでできた『シート』と『スポンジ』を重ねたものと、スポンジ無しの1枚ラバーがありますので、組み合わせによって、ラケットのタイプは無数です！

ラバーの種類は、どのようなボールを生み出したいかによって選びます。

表面が平らで摩擦力が大きいものは回転をかけやすく、表面にツブがあるものは球離れが早くスピードが出やすいラバーです。ツブの形状を変えることで、無回転のボールも生み出せます。加えて、スポンジの厚さによって、スピード・威力・コントロールのし易さを変化させています。

日本ベアリングのオプション製品である【リバーシール】は、標準サイドシールの外側にリップを逆向きにしたシールを取り付けた、シール二重構造のシールユニットです。

この構造により出来たグリースポケットが、グリースの漏れを低減し、機能がアップしました。卓球のラケットのラバーとベアリングのシール、どちらも本体の機能を支える大事な存在です。

【企画・協力：(株)学研エデュケーショナル】